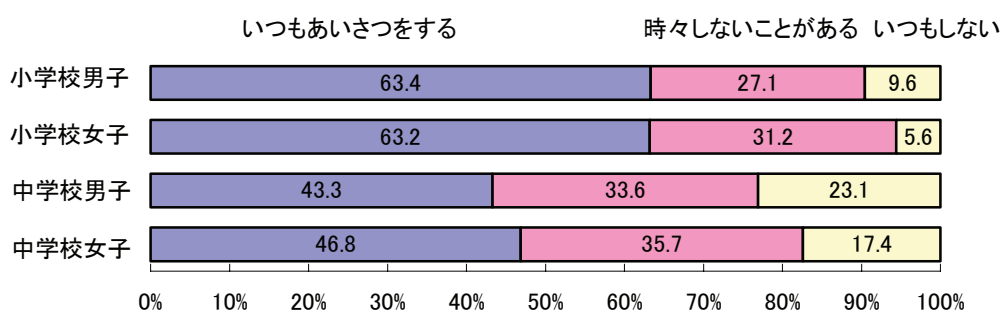


### 13. 郷土料理・伝統食

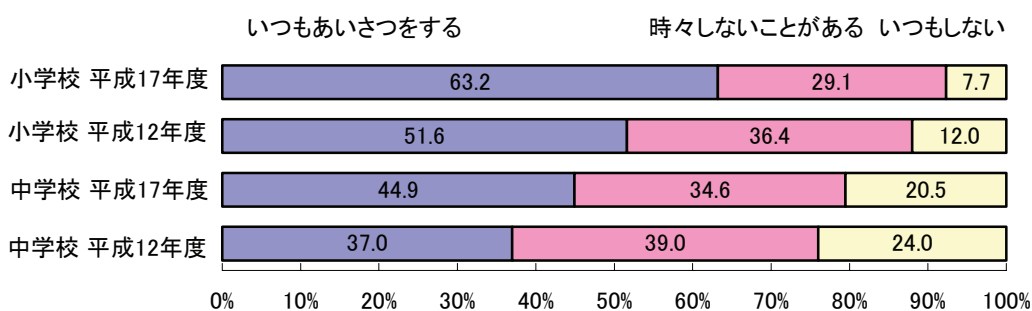
- 食事の時、いつもあいさつをする小・中学生の割合は、平成12年に比べ増えてきています。小学生に比べ中学生ではあいさつをしなくなる傾向があります。
  - 地域の食文化である郷土料理や伝統食は、それぞれの地域の産物を上手に活用し、その風土にあった食べ物として創られ、伝えられてきたものです。また、その多くは、伝統行事における行事食として地域ごとの特色を映しだしています。地域の郷土料理・伝統食を知っている人の割合は、千葉県では6割で、郷土料理・伝統食を食べたことがある人の割合についても、ほぼ同じ状況です。
  - 郷土料理・伝統食を作ることができる人の割合は、千葉県では4割程度で半数以上の人が作ることができない状況です。
  - 行事食を伴う伝統行事を行っている人は、千葉県では8割を超えています。しかし、年間7回以上行事を行う割合は、全国では5割近い状況であるのに対して、千葉県では2割を下回っており、家庭の食卓に地域ならではの郷土料理・伝統食が上がる機会が少ない状況です。
- 地域の食文化である郷土料理・伝統食にふれる機会を増やし、次の世代へ伝えていくことが望まれます。

図表-117 食事のあいさつに関する調査(全国)

#### ①食事のあいさつ(小中学生)



#### ②食事のあいさつの年次変化(小中学生)

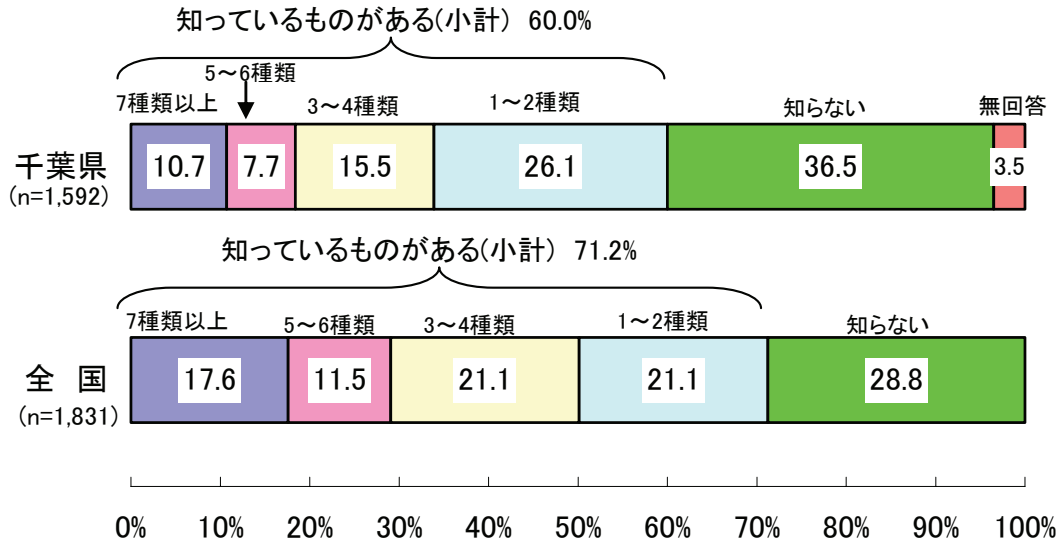


資料：「児童生徒の食生活等実態調査」(平成17年度：(独)日本スポーツ振興センター)をもとに作成

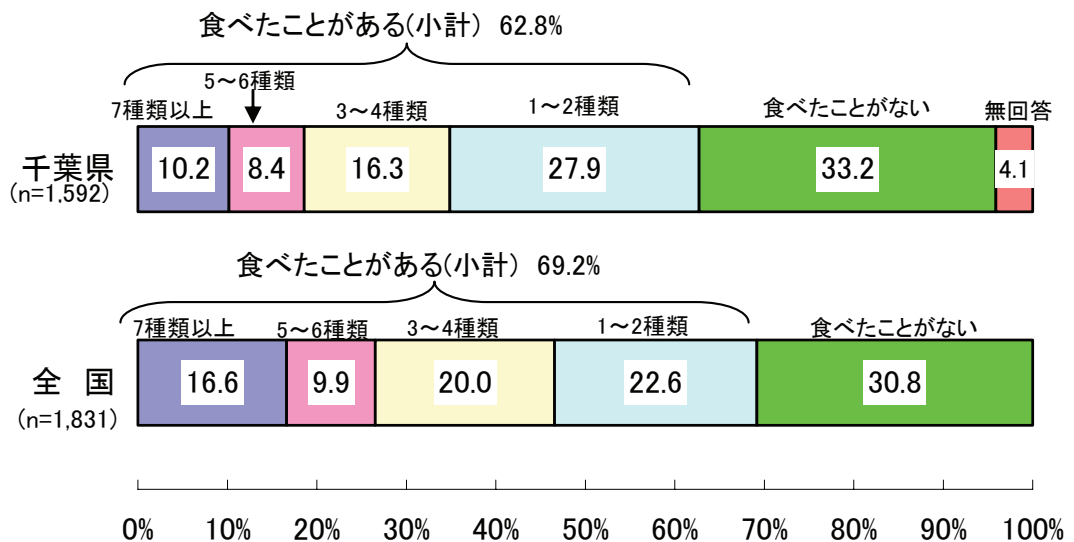
図表－118 郷土料理・伝統食に関する調査

※千葉県の場合は「無回答」を含んでいます。

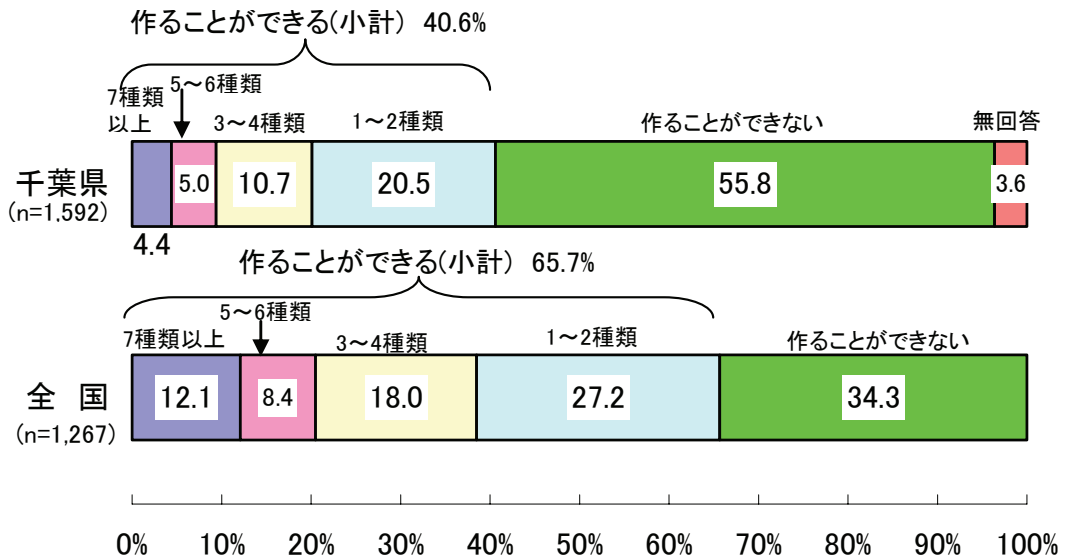
①住んでいる地域の郷土料理・伝統食を何種類知っているか



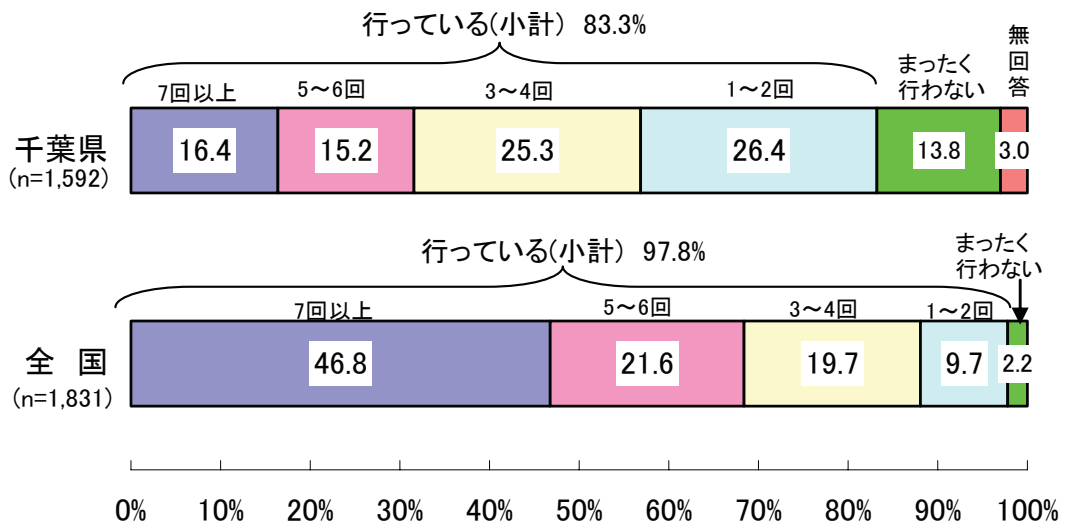
②住んでいる地域の郷土料理・伝統食を何種類食べたことがあるか



③住んでいる地域の郷土料理・伝統食を何種類作ることができるか



④自宅で、行事食を伴う伝統行事を年間に何回行っているか



資料：平成19年度第35回県政に関する世論調査結果(千葉県)  
食育に関する意識調査報告書(平成19年3月：内閣府)  
をもとに作成